

MD20004

このたびは、マックスレイ照明器具をお買い上げいただきまことにありがとうございます。ご使用になる前に必ず本説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。

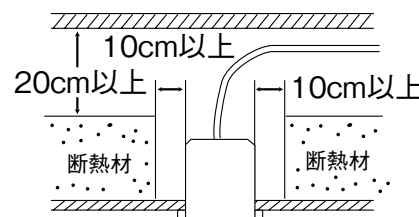
施工者様へのお願い

器具の取付け、電気工事は電気設備技術基準に従って、有資格者が行って下さい。一般の方の工事は法律で禁止されています。工事終了後、この説明書は必ずお客様にお渡し下さい。

安全に施工していただくために

⚠ 警 告

- この器具は一般屋内用天井埋込照明器具です。床や壁に取付けたり、下記の使用環境、条件では使用しないでください。**感電・火災・落下の原因**となります。
 - ・周囲温度が35℃以上の所
 - ・屋外の水のかかる所や、風呂場など湿気の多い(湿度85%以上)所
 - ・振動・衝撃の激しいところや、腐食性ガス・可燃性ガスの生じる所
 - ・粉塵の多い所
- 器具の施工は取扱説明書に従い確実に行ってください。施工に不備があると、**火災・感電・落下の原因**となります。
- 器具を改造しないでください。**火災・感電の原因**となります。
- 断熱材や防音材を器具にかぶせないでください。器具の加熱により、**火災の原因**となります。



⚠ 注 意

- 器具に表示された電源電圧の±6%以内で使用してください。**火災・感電の原因**となることがあります。
- 器具の取付け方向には制限のあるものがあります。器具表示にしたがって正しい向きに取付けてください。**火災や落下の原因**となります。
- スプリンクラーなどの防火設備に器具や電球の熱が影響しないように施工してください。**防火設備の誤作動などの原因**となります。

取付方法

図は抽象化した共通図です

1. 取付け前の確認。

- 器具重量や電球の交換など器具の保守・点検の際にかかる力に十分に耐える様、取付け部の強度を確保してください。

2. 天井に埋込み穴(φ150mm)をあける。

3. 付属の安定器を設置し器具と接続する。

- 右図参照
- この時必ずD種接地工事を行ってください。

4. 本体より補助反射板を外す。

- 裏面補助反射板の脱着参照

5. 本体を取付ける。

- 端子台の取付け金具を抑えながら本体を埋込み穴にいれてください。
- 右図参照

6. 付属の電球または、本体に表示してある電球を確実に取付ける。

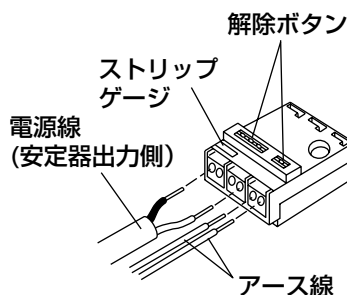
- 裏面電球交換参照

7. 照射角度を調整する。

- 裏面可動範囲参照

8. 補助反射板を取付ける。

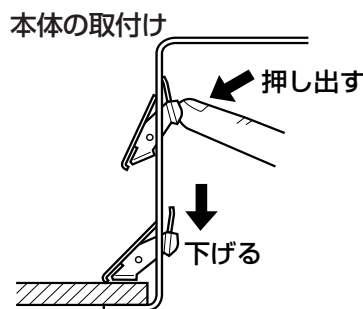
- 裏面補助反射板の脱着参照



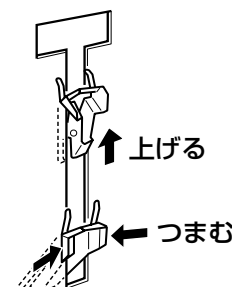
電源線(安定器出力側)とアース線の外部被覆をストリップゲージに合わせて剥ぎ取り、確実に差し込む。

- 差し込みが不十分な場合接触不良により、**火災の原因**となります。
- 外す時は、解除ボタンにマイナスドライバーなどを差し込み、電源線を引っ張って下さい。

Cuφ1.6 φ2.0専用



器具を埋込穴に差し込んだ後、ワンオペ金具を押し出しながら引き下げる。



外す時はワンオペをつまんで押し上げる。

ご使用前に、この説明書を必ずお読みの上正しくお使いください。

保管用

安全にご使用いただくために

⚠ 警 告

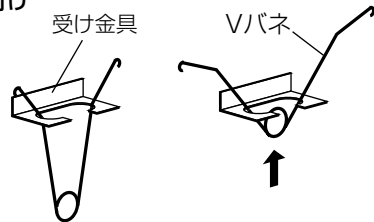
- 器具や電球(ランプ)を布や紙など燃えやすいもので覆わないでください。**火災・感電の原因**となります。
- 電球(ランプ)交換の際には、本体表示にしたがって、指定された電球(ランプ)を使用してください。指定以外の電球(ランプ)を使用すると、**火災や器具故障の原因**となります。
- 器具を改造しないでください。**火災・感電・器具故障の原因**となります。
- 万一、煙が出たり、変な臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、**火災・感電の原因**となります。すぐにスイッチを切ってください。異常がおさまったことを確認して、電気店・工事店に修理をご依頼ください。

⚠ 注 意

- 電球(ランプ)交換や、お手入れの際は、安全のため電源を切ってから行ってください。**やけど・感電の原因**となる場合があります。
- 電球(ランプ)と商品などの被照射物との距離には制限があるものがあります。器具表示にしたがって十分な距離をとってください。商品の退色だけでなく、**火災の原因**となる場合があります。

■補助反射板の脱着

取付け



1. Vバネを受け金具に引っ掛ける。
2. 枠を押し上げて、固定してください。

取り外し

枠を1.の図のようになるまで引きげ、Vバネを受け金具からはずしてください。

■電球(ランプ)交換

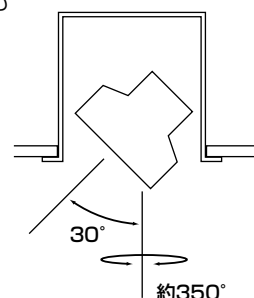
- 電球の交換は、電源を切り器具の温度が下がってから行ってください。点灯中や消灯直後は、**やけどや感電の原因**となる場合があります。
- 電球交換の際には、本体表示にしたがって指定された電球を使用してください。指定以外の電球を使用すると、**火災の原因**となる場合があります。



■可動範囲

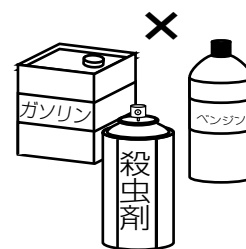
下図の可動範囲内でご使用ください。

- 点灯中にやむを得ず照射角度の調整をする際は、**やけど防止のために布製の手袋などをしてください。**
- 点灯中は**電球が切れやすい**ので、衝撃を与えないでください。



■器具の保守・点検

- 照明器具の取り替え時期の目安は、通常のご使用状態においては約8年から10年です。安全に使用するため、5年に1回程度の器具の点検および、6カ月に1回程度の清掃を行うようにお願いします。
- 汚れを落とす場合は、石鹼にひたした、柔らかい布をよく絞って、ふきとり乾いた布で仕上げてください。シンナー・ベンジンなどの揮発性のものでふいたり、殺虫剤をかけたりしないでください。**変色・変質の原因**となります。



お客様相談窓口

マックスレイ株式会社

東京 03-3791-2711
大阪 06-6967-0123
名古屋 052-252-9556
福岡 092-431-7824